

園評価票

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成

A-1-(1)-① こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	全体的な計画は、こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成している。	A
B	全体的な計画は、こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成しているが、十分ではない。	
C	全体的な計画は、こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成していない。	

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A
B	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、十分ではない。	
C	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していない。	

A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	A
B	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているが、十分ではない。	
C	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていない。	

A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	A
B	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っているが、十分ではない。	
C	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていない。	

A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	B
B	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているが、十分ではない。	
C	子どもが主体的に活動できる環境の整備や、子どもの生活と遊びを豊かにする保育が展開されていない。	

A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A
B	適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
C	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	

A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A
B	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが十分ではない。	
C	基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されていない。	

A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A
B	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
C	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	

A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	B
B	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
C	障害のある子どもが安心して生活できる環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	

A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A
B	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
C	それぞれの子どもの在園時間を考慮した保育環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	

A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	A
B	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているが、十分ではない。	
C	小学校との連携や就学を見通した計画、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮していない。	

A-1-(3) 健康管理

A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもの健康管理を適切に行っている。	A
B	子どもの健康管理を適切に行っているが、十分ではない。	
C	子どもの健康管理を適切に行っていない。	

A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	A
B	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映しているが、十分ではない。	
C	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映していない。	

A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	A
B	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っているが、十分ではない。	
C	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、適切な対応を行っていない。	

A-1-(4) 食事

A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	食事を楽しむことができるよう工夫している。	A
B	食事を楽しむことができるよう工夫しているが、十分ではない。	
C	食事を楽しむことができる工夫をしていない。	

A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	A
B	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供をしているが、十分ではない。	
C	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供していない。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A
B	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っているが、十分ではない。	
C	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っていない。	

A-2-(2) 保護者等の支援

A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	A
B	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っているが、十分ではない。	
C	保護者が安心して子育てができるようにするための支援を行っていない。	

A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A
B	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めているが、十分ではない。	
C	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めていない。	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り

A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A
B	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めているが、十分ではない。	
C	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)に取り組んでいない。	

A-4 苦情解決体制

A-4-(1)-① 苦情解決の仕組みが確立されており、周知・機能し保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われるとともに仕組みが機能している。また、保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されている。	A
B	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが十分に機能していない。またまた、保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されているが十分ではない。	
C	苦情解決の仕組みが確立していない。また保護者が相談したり意見を述べたい時に、方法や相手を選択できない。	

A-4-(1)-② 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。	A
B	保護者からの相談や意見を把握しているが、対応が十分ではない。	
C	保護者からの相談や意見の把握をしていない。	

A-5 安全管理

A-5-(1)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	リスクマネジメント体制を構築し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。	A
B	リスクマネジメント体制を構築しているが、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集や要因分析と対応策の検討・実施が十分ではない。	
C	リスクマネジメント体制が構築されておらず、子どもの安心と安全を脅かす事例を組織として収集していない。	

A-5-(1)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。	A
B	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備しているが、取組が十分ではない。	
C	感染症の予防策が講じられていない。	

A-5-(1)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	A
B	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っているが、十分ではない。	
C	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っていない。	

A-6 地域支援機能

A-6 地域の福祉向上のための取組を行っている。

A-6-(1)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を積極的に行っている。	B
B	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っているが、十分ではない。	
C	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っていない。	

A-6-(1)-② 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われている。	A
B	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われているが十分ではなく改善が必要である。	
C	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談等）を提供していない。	

A-7 ボランティア・実習の受入

A-7-(1)-① ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されており、受け入れについての体制が整備されている。	A
B	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢は明示されているが、受け入れについての体制が十分に整備されていない。	
C	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されていない。	

A-7-(1)-② 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等、積極的な取組を実施している。	A
B	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備はしているが、効果的な育成プログラムが用意されていないなど、積極的な取組には至っていない。	
C	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備しておらず、教育・研修が行われていない。	

A-8 職員の人材育成

A-8-(1)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。	A
B	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われているが、十分ではない。	
C	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理が行われていない。	

A-8-(1)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	こども園として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	A
B	こども園として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されているが、内容や教育・研修の実施が十分ではない。	
C	こども園として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。	

A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割

A-9-(1)-① こども園の理念や基本方針等について職員に周知されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っている。また、職員が理解できているか、園長・主任が確認（採用時・採用後年1回）	A
B	理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っているが十分でなく改善が必要である。	
C	理念・基本方針を職員に説明・理解させていない。	

A-9-(1)-② 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を十分に説明している。	A
B	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明しているが十分でなく改善が必要である。	
C	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明していない。	

A-9-(1)-③ 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っている。	A
B	主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っているが十分でなく改善が必要である。	
C	主任が個々の職員の業務状況を把握しておらず、助言や指導を行っていない。	

A-10 効率的な運営

A-10-(1)-① 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいる。	A
B	事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいるが十分でなく改善が必要である。	
C	事業運営に影響のある情報の収集・分析をしていない。	

A-10-(1)-② こども園運営に関して、中長期的な目標を設定している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討している。	A
B	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討しているが十分でなく改善が必要である。	
C	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成していない。	

施設のアピールポイント及び課題

	アピールポイント	課 題
A-1 保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事が多く、子ども達も楽しめている。 ・プールが施設内にあり、気温や天気によ左右されることなくプール遊びを楽しめる。又周辺には公園も多く、散歩や公園での遊びを楽しめる。 ・専任講師による体操教室・英語教室があり、体力づくりや、英語を身近に感じることができる。 ・基本的な生活習慣が身につくような援助が行われている。 ・菜園で野菜の栽培を行い、収穫までの成長過程と、収穫した野菜を食べる楽しみを体験出来る。 ・分園があり、初めて集団生活を送る0歳児や1歳児にとっては、穏やかでゆったりとした園生活を送ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間保育の園児が多く、自由遊びの時の玩具を工夫して使用しているが、職員はシフトにより、人数が少なくなる為、玩具の遊び方を工夫したり、手づくり玩具を増やす等、遊びがマンネリ化しないように考える。 ・特別支援の園児に対してもより良い環境づくりを考え、個々に合った保育を提供するように工夫する必要がある、職員間で話し合いを行っている。 ・長時間保育の園児が多い為、シフト等で職員数が不足し、園児同士のトラブルになった時の対応が遅れてしまうことがある、パート保育士等の勤務時間帯を工夫する必要がある。
A-2 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎は玄関対応だが、子どもの様子を伝えることが出来ている。 ・保護者から相談がある場合、場所や時間を決め、話す機会を設けた。 ・写真やDVDで園の様子を伝えている。 ・保育懇談を行い、保護者と話す機会を設けている。 ・園開放やおおぞらランドで、保護者の育児相談を行い、育児の不安を聞きアドバイスを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がコロナで行事を観る事が出来ない事もあり、DVDの貸し出しが増えて順番が混雑することもあった。 ・健診結果で受診を勧めても受けてくれない事もあり、虐待と権利侵害について知識を深めていく必要がある。
A-3 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を行い資質向上に努めている。 ・様々な研修を受講し、自己研鑽に努めている。 ・園評価を行い、課題を洗い出し、改善に向けて話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いを行い保育の見直しと改善に努めていく。
A-4 苦情解決体制	<ul style="list-style-type: none"> ・対応は素早くしっかりと行っている。 ・体制が整っている為、苦情や意見等の話をしやすい。 ・保護者が仕組みを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から保護者と話しやすい環境を作っておく必要がある。

<p>A-5 安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩コースや公園を事前にチェックを行い、安全を確認し散歩に行っている。 ・様々な災害を想定して訓練を行っている。 ・施設内外の環境の安全チェックを行っている。 ・分園から本園への避難コースの事前チェックも行い、安全を確認し避難訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の保護者への連絡がとれない場合の対応も職員間で話し合い、全員が周知を徹底する。 ・一時避難場所や避難場所への事前チェックも行い、避難場所への避難訓練も回数を増やし、非常時に備える。 ・非常ベルの音量が低く感じるため、大きさを確認する。
<p>A-6 地域支援機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放やおおぞらランドを行ったり、遊具や用具の貸し出し機能がある。 ・冬に地域のスノーフェステバルに園庭を開放する機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで充分に行うことが出来なかったため、来年度に向けてもう一度見直しをする必要がある。
<p>A-7 ボランティア・実習の受け入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習や栄養士実習、看護学生の実習受け入れを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学生は毎日のカンファレンスを行っているが、栄養士実習や保育実習も同じように毎日主任のカンファレンスを行う。
<p>A-8 職員の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修を受講し、知識を習得し、日々の保育に役立てることが出来る。 ・職員間で研修内容の共有が出来ている。 ・園内研修を行い、マニュアル等の確認も行うことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を行い、自己研鑽に励んでいるが、勤務年数に差があるため、マニュアル等の理解には個人差があるため、継続的な研修が必要になる。
<p>A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の話聞いて対応してくれる。 ・主任は働きやすい環境づくりと職員と積極的にコミュニケーションをとっている。 ・職員個々の業務内容を把握して、効率的に業務が出来るように細やかなアドバイスを行っている。 ・各リーダーの役割を把握して、適切なアドバイスをとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務時間の確保出来るように、工夫しているが、業務の見直しを検討しなければならない。
<p>A-10 効率的な運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育関係の情報収集を行い、保育士の人数と適切な園児の受入を行う。 ・定期的に管理職会議を行い、姉妹園間で情報交換をこまめに行い、計画的な運営を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数が激減する中、保育士確保等の見直しを行う必要がある。